

スカボローガス田開発プロジェクトの概要

- スカボローガス田は ウッドサイド社がオペレーターとして開発中のLNGプロジェクト。
- 当社100%子会社であるJERA Australia社の子会社となる新設SPC（JERA Scarborough社）を通じて同ガス田権益を取得。
- CO2含有率が0.1%未満と非常に低く、環境負荷が低いLNGを生産可能。

プロジェクト概要（スカボローガス田開発）

立地	オーストラリア 西豪州北西部沖合約375km
権益保有比率	ウッドサイド社（オペレーター） 74.9% 株式会社 JERA 15.1% エルエヌジージャパン株式会社 10%
液化プラント	プルート液化基地（Train2を新設*2） *2 ウッドサイド社が51%、GIP社が49%出資
LNG生産量	最大年間約800万トン ※当社は権益取得分（15.1%）相当の年間 最大約120万トンのLNGを引き取り
最終投資決定	2021年11月（最終投資決定済み）
LNG生産開始	2026年見込み

